

<巻頭言>

2年を振り返って

日本原子力研究開発機構

辻本 和文

2020年4月から本部会会長を仰せつかりましたが、2年間の任期期間中に学会年会对面形式で開催されることはなく、ほとんどの部会員の皆様と直接お会いすることなく任期を終えることになりそうです。この2年間、学会の年会は、学会事務局や関係者のご尽力のおかげで、オンラインで開催され、なんとか研究発表や情報交換の機会は維持されています。約2年前までは、オンラインで年会が開催することができるとは思ってもみませんでした。あらためて技術の進歩に驚かされます。一方で、職場以外の方々と直接お会いする機会は激減し、何となく知的好奇心をかき立てるような新しい気づきや新鮮な驚きを得る機会が少なくなったような気がします。

私自身の個人的な話で恐縮ですが、ダイエット目的でジョギングを始めてからマラソンに挑戦するようになりました。以前に住んでいた場所が、地元のマラソン大会のコース沿いだったので、何回か地元の大会にも出場しました。その後、地元の大会だけでなく、旅行も兼ねて遠方の大会に出場するようになりました。知らない土地で走ることは楽しいですし、その土地の名物や温泉等を堪能することも楽しみです。しかし、2020年の3月くらい、新型コロナウイルス感染症の拡大により多くの大会が中止になりました。マラソン大会は、多くのボランティアやコース沿道住民の方々の協力で成り立っていますので、主催者の中止の判断はやむを得ないものと理解できませんが、参加者としては、とても残念でした。

そのような状況が、2021年の秋から少しずつ変わってきて、いくつかの大会が開催されました。私も11月から12月にかけて2つの大会を走ることができました。できる限りの感染対策として、大会前2週間の体調管理記録の提出や走るとき以外のマスク着用が求められ、給水所ではペットボトルや蓋付きの紙コップでの給水が行われました。走ること自体は楽しかったのですが、それ以上に、見知らぬ参加者同士、給水所のボランティアや沿道で応援してくれる方達と会話できることが本当に楽しかったです。やはり人と人が出会うことは、いろんな刺激を与えてくれると改めて認識しました。

本原稿執筆時点（令和4年1月）では、新型コロナウイルス感染症の検査陽性者数が急激に増えてきており、多くの都道府県にまん延防止等重点措置が適用されています。そろそろ、社会として、どれだけリスクを容認するかの議論が必要なようにも思います。欧州では、持続可能な経済活動を分類する制度に原子力を含めるかの議論がなされていますが、我が国では、原子力の位置づけは曖昧なままです。2011年3月11日に宣言された原子力災害対策特別措置法に規定する

原子力緊急事態は、いまだに解除されていません。あらためて、部会員の皆様には、解除の条件が整うように専門家としての貢献を期待するとともに、原子力の未来について、それぞれの専門家としての役割を果たされることを切望します。

(令和4年1月31日)